

# W D

## 第3回

オンライン

# 子どもたちのための産廃おしゃべり会



SPECIAL GUEST

**吉川みつこ**

愛西市市議会議員  
環境や子育て・高齢者などの  
市民活動のスペシャリスト

西尾市一色町生田地区に民間業者が建設を計画している産業廃棄物最終処分場について、もっとたくさんの方に知ってもらいたい！とスタートした企画。「もっと知りたい！もっとおしゃべりしたい！もっとみんなに知らせなきゃ！」という参加者のみなさんからの熱い声をどんな状況でも盛り上げるために、第3回の今回はオンラインで開催します！

今回も産業廃棄物処分場問題に長年関わってこられた吉川三津子さんがゲストとして参加。産廃問題の基本を教えてくださいます。(過去回からの情報の抜粋は裏面)

第3回の今回は、週末x夜xオンラインだからこそ参加できるみなさんを大歓迎して、もしかすると西尾の未来に何か起こってしまうのか、そしてそれなら今処分場建設を阻止するために何ができるのかを、楽しくおしゃべりしてみましょう。

内容は、これまで参加していなくても十分理解し楽しめる内容です。ぜひご家族と一緒にご参加ください！

この問題について  
西尾市環境保全課が  
作成した動画で  
予習してから  
ご参加をオススメします  
(約18分)



産廃動画

まずは  
ここから



こちらも  
お願い  
します

産廃についての  
簡単なアンケートも  
実施中！  
(所要時間2分)



# 2021年2月13日(土) 夜7時~8時半

参加費:無料 定員:50名

お申込みはこちら



\*Zoomがない方には、一色町生田にサテライト会場有 (先着順:10名程度)

主催:産廃建設阻止!西尾市民会議 共催:同時多発西尾を愛するママミーティング  
お問合せ:090-6583-0533(山本) 090-8950-0822(野田)

\*生田サテライト会場への  
お申込みは担当・山本まで

## ～これまでの産廃おしゃべり会から～

### ★吉川みつこさんってどんな人？

普通の一母親でしたが、地元の立田村の産廃施設計画への反対をきっかけに市民運動をスタート。子どもたちの未来のためになることは妥協なくやりまくる元気200%の方です。

### ★吉川さんが見てきた産廃問題とは…

平成10年頃、瀬戸市の住民の依頼で支援に。さらに同17年頃「赤い水が流れてくる。調べて欲しい」と相談され、京都大学に調査してもらいました。瀬戸市は「愛知県内の産廃銀座」といわれる地域です。処分場に埋設されているのは硫酸の汚泥や微量の放射性物質を含むフェロシルトなどの産業廃棄物ですが、これを埋設することは住民には知らされていませんでした。当時の町内会長は「好きで認めたわけではない。毎日、騒音と粉じんに悩まされている」と言い、住民の中には、雨戸は締めっぱなし、布団も干せない、謎の体調不良などの健康被害も。地元には業者から自治会費が納められ、窓を開けられないと言えばエアコンが整備されるなどお金が配られました。

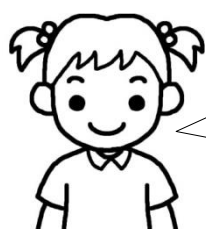
でも、それで住民はほんとうに幸せになったのでしょうか？

### ★吉川さんが西尾の産廃問題に関わり、みなさんに伝えたいことは…

「1カ所できると産廃は伝染病のように、次々に拡がる」「お人好しのところにくる」と言います。ほんとうにそうです！心優しい地域に産廃処分場はきます。出来てしまわないと被害は実感されません。しかし、出来てしまったら二度と元には戻せません。

今、全国で世界中でゴミ減量が叫ばれている時代なのに、なぜ日本でも最大級の規模の巨大な処分場を一色につくるのでしょうか？何が運び込まれるのでしょうか？産廃が出来てしまってもいいのでしょうか？子どもたちの未来のために私たちは何ができるのでしょうか？

今こそ本気でみんなで考える時。そしてみなさんにはそれを変える力があります！



この計画を  
どう思いますか？



## ～これまでの参加者の声～

★でも、産廃に反対するためには、何か代案を出さないといけないんじゃないか？

ゴミはどうしても出るし、誰かが引き受けないといけないんじゃないか？

【吉川さん】私たちが代案を出す必要はありません。人が「産廃はどこかに必要」という意識でいる限り、\*産廃問題は解決しません。みんなでNO！と言い続けること、ちゃんと分別するなどの考え方に立つことによって、国レベルで解決方法を考えざるを得ない方向に持っていけばいいんです。NO！というのは権利です。

\*産廃（産業廃棄物）とは、経済活動で生み出される廃棄物のことで、一般家庭ごみとは別ものです。

★これは三河湾だけの問題ではない。海は伊勢湾、そして東京・豊洲にもつながっている。もっともっと正しい情報を拡げなければいけないのではないか。

★もっとおしゃべりしていきたい！知らせなきゃ！